

町方伊報

発行所
 伊方町
 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦
 〒796-03 伊方局38-0211
 編集課
 総務課
 印刷所
 豊豫社
 八幡浜市松柏 ☎22-0144

新春



情報化・地域振興の核となる地域振興センター(撮影:12月18日)

年頭のいきいき

明けましておめでとうございませう。町内の皆様をはじめ、遠く町外で活躍の皆様もご一緒にお喜び申し上げます。昨年、町政に対し格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。国内的には、東京、大阪等の大都市圏に経済、文化、人が集中し、所謂、一極集中型の国土開発を排除して、多極化地方分散型、ふるさと

豊かで住みよい町づくり

伊方町長

創生等の政策がとられております。町におきましては、今年度も都市部と農村部との格差を是正することに力を盡して行きたいと考えております。そのためには、従来の基本政策であります、「活力ある町づくり」「定住できる町づくり」「希望あふれる町づくり」の三つの政策目標を推進する覚悟であります。狭い土地の伊方町で、足腰の強い産地競争に勝ち残るためには、

議会活動に理解と協力を

伊方町議会議長

たこと、まことに有難く厚くお礼を申し上げます。さて今、我が国は高承のとり、世界が目を見張る程のスピードで経済大国にのし上って参りました。このことにつきましては大変喜ばしいことで、ご同慶にたえません。地方、特に農村地域との格差は拡大するばかりでございます。私共は新しい年を迎えるにあたりまして、今度は地方が「自ら考え、自ら実行する」この声を大きく掲げなければならぬときであると存じます。国におきましても、このことに

水資源の確保と同時に、高度な先端技術を駆使出来る栽培技術の確立が必要であろうと思っております。昨年末に建物が完成し、平成三年四月より業務開始予定の地域振興センターは、地域の情報化促進と地場産業の活性化を図るとともに、新産業を創出し、地域振興を推進するため、三部門の研修の場を町民の皆様へ提供致したいと思っております。

また、八西情報センターで只今準備をしております、有線テレビ(CATV)のセンター機能も地域振興センターに入居することになっております。本センターが新年度以降、有効適切に運用されるよう町民の皆様のご理解とご協力を期待しております。

新春にあたり、二十一世紀にかけ、ふるさと伊方町の構築を進めるため、町民の皆様のご協力をいただき、豊かで住みよい町づくりの実現に努力してまいります。皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げますとともに、より一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

ついて援助をしようとして今、様々な動きがなされておりますが、本町におきましては、今年に地域振興センターが完成し、いよいよ活用の運びとなります。ここを核といたしまして、地元をしっかりと見つめ直し、伝統文化の保存等を通じ人々のふれあいを深め、地場産業を振興し、高齢者対策、さらにはCATVなど情報開発を図るなど、多彩なまちづくりに全力をあげなければならぬと存じます。

私共議会はこのような近況下のもと、一層町民の皆様への負託に堪えていかなければならないと存じております。どうか今後共、私達議会に対しまして多大なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

謹んで新春の

お祝詞を申し上げます

伊方町役場

伊方町 役場

伊方町 助役

伊方町 収入役

伊方町 教育長

伊方町 職員

伊方町 職員

伊方町区長会

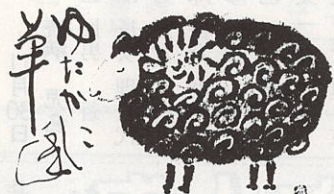
謹賀新年

伊方町議会

議員一同

年賀状の禁止

先月の広報でも紹介いたしました、公職選挙法の一部改正され、政治家は選挙区内の皆さんに、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁止されました。つきましては、昨年末まで町内の皆さんに差し上げていました、町長並びに町議会議員による年賀状での「ごあいさつ」を御遠慮させていただきます。



平成三年は未年です。羊は、「おとなしい」「柔順」「群れになる」などのイメージがあります。さて、「一年の計は元日にあり」といいます。今年の目標を決め、「迷える羊」にならないよう、スタートを切りたいものです。

教員志望の方に

返還免除の特例

無利子の奨学金制度

町教育委員会では、平成三年度の「奨学生」を募集しています。奨学金の貸付を希望されますかたは一月三十一日までに、次の要領で申し込んでください。

○人物、学業ともにすぐれ、健康で学資金の負担が困難と認められる人

○保護者またはこれに準ずる家族（成人に限る）が町内に居住している人

【手続き方法】
町教育委員会が定める「町奨学生願書」に必要な事項を記入して、直前に卒業した、または在学している学校長の推薦書添えて提出してください。

申請用紙は町教育委員会か伊方・町見中学校、川之石高校、八幡浜高校、八幡浜工業高校に用意してあります。

【返還免除の特例】
愛媛県公立学校教員（小・中・中学校教員）として採用されたときは、奨学金の返還が免除されます。

【貸与月額】
高等学校………一万円
高等専門学校………一万五千元
大学………二万円
県立農業大学校………一万円

【提出期限】
平成三年一月三十一日

【採用候補者の決定】
採用候補者は選考委員会で選考後、決定して三月末日までに通知します。ただし、不

【資格】
○学校教育法に規定する高等学校（盲学校・ろう学校・養護学校の高等部を含む）、高等専門学校、大学及び県立農業大学校に四月に入學（新一年生）する人。

【返還方法】
貸付金は無利子。返還は、貸付が終了して六カ月経過した後、貸付期間に応じて十五年以内に返還してください。



歳時記

かまくら

雪国の小正月の行事で、特によく知られているのが、秋田県横手市のかまくらです。雪でかまど型の雪洞を作り、そのなかに祭壇を設けて、水神様や家々の厨子を祭ります。そして、子供たちがそのなかに入ってこたつを囲み、もちを焼いて食べたり、甘酒を飲んだりします。

大人たちは、もちやさい銭を持ってかまくらを訪れ、子供たちは甘酒を振る舞います。この行事を、なぜかまくらというのかは、はっきりしないようです。ただ、鳥追いの歌の歌い出しに、かまくらという言葉があるところから、鳥追いの行事と関係があるといわれています。

横手のかまくらは、最近では観光行事にもなっていて、市内に200個ものかまくらが作られ、九州や関西方面からの団体客もくるそうです。また、雪祭りの行事の一つとして、かまくらを作るところもあります。観光用のかまくらを長持ちさせるために、なかに金網のかごのようなものを入れ、その上に雪をかぶせる方法もあるそうです。

料理の飾りにも、かまくらが流行しています。かまくらの氷のなかに刺身を入れて、皿にのせるのです。刺身がよく冷えて、おいしく食べられます。最近では、刺身用のガラスのかまくらもあります。

ところで1月24日～30日は、「全国学校給食週間」です。学校給食の意義、役割への理解と関心を深め、一層の充実を図るために、「我が校の自慢料理」などの行事が各地で行われます。



西宇和郡保内町川之石和田町一八六五にお住いの窪田義隆さん(亀浦出身)から二万円。
兵庫県尼崎市西立花町三丁目六一九にお住いの前地久美子さん(大浜出身)から五万円。
大阪府寝屋川市高柳五丁目三一五にお住いの古庄洋子さん(大浜出身)から五万円。
それぞれ広報編集費用にご寄付いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

これまで大学生、専門学校の生徒などは、二十歳以上であつても国民年金への加入は任意でしたが、平成三年四月からは、必ず加入しなければならぬことになりました。これにより、学生の方が事故や病気で万一障害者になった場合でも障害基礎年金が受けられます。また、二十歳から六十歳までの四十年間加入することにより、満額の老齢基礎年金が受けられることになりました。

国民年金
学生も全員入ります

国民年金は、学生本人または世帯主に納付義務が生じます。が、学生という特殊な事情を考慮して、保険料納付が困難な場合には、保険料を免除するなど、負担面における配慮も検討されています。

町内の交通事故

(12月20日現在)

発生件数	76件
(12月)	5件
負傷者数	31人
(12月)	0人

昨年一年間の町内の交通事故は、発生件数、負傷者数とも減少しているものの、死亡事故など事故の大型化が目立ちます。死亡事故の発生場所は、道路の整備された新国道に集中。ちょっとした気のゆるみやスピードの出し過ぎが原因です。わき見運転やスピードは控えめに、安全運転に努めましょう。

伊方・町見駐在所

人の動き

平成2年12月1日現在
世帯数2,646戸(+ 2戸)

人口 8,151人 {男3,976人(+ 4人)}
{女4,175人(+ 2人)}

えんむすび
平成2年11月1日
11月30日
氏名 本籍地

おくやみ
平成2年11月1日
11月30日
死亡者 年齢 住所

こちら 編集室

何もかも古い習慣が消えてゆく中で、お正月のおせち料理だけは、食品天国になった現代でも、習慣として食卓に並ぶ家庭は少ないのでは。

「おせち」とは「御節供」の略で、もともと御節供は、宮中の節目の宴会に供せられる、ごちそうのことでした。

このおせち料理を、正月に食べるのは、つまり宮中のしきたりが民間に広まり、歴史の中で伝承されてきたというわけです。

なお、その後おせちにはいろいろな意味が加えられ、正月三日間は主婦を休ませるとか、水仕事を避けさせるとされ、大みそかに作って、お重に詰めておくのが通例となりました。

今年も親しまれる広報になるよう頑張ります。ご協力をよろしくお願いたします。

人権コーナー

差別する 言葉一言 傷一生

井村 康邦 (九町小五年)

この標語は、今年度町人権擁護推進協議会が募集した人権作品の標語部門で「町長賞」に選ばれたものです。

保護者 続柄 児名

平成2年11月1日
11月30日

よりよい社会を願って

- 明るいあいさつをしよう
- 時間を守ろう
- 町を美しくしよう



教育だより

〔発行〕
伊方町教育委員会
〔編集〕
社会教育課
〔印刷〕
豊 豫 社

年頭所感

教育長 阿部 嘉明



あなたが主役 伊方の町づくり

明けましておめでとうございます。平成三年の輝やかしい新年をお揃いで迎えられる

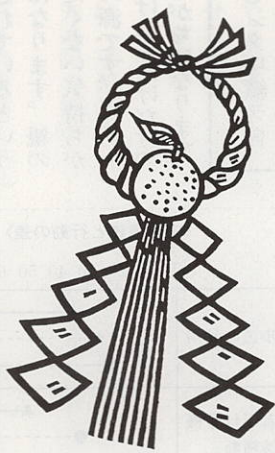
ことと思いますが、心からお慶び申し上げます。併せて今年も町教育の推進によりよくご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。さて、平和で物の豊かな、よい時代が続いておりますが、この頃よく生活環境悪化の問題や、過疎、過密化の問題が議論されます。特に活気が都市中心で、農林水産業を主とする地域では、人口減少

による沈滞化が大変心配されています。そして、このような懸念から国の行政でも町づくりやふるさと創生が強く叫ばれ、事業が推進されております。伊方でも町づくり運動が早くから進められていますが、この頃改めてクローズアップされ、その事業も徐々に具体的になって来つつあります。例えば、地域振興センター

設置による情報化時代への対応や、地場産業の育成であり、ふるさと創生事業による人材育成事業やビジョンづくり、地区自治活動の活性化、生涯学習体制の整備などです。ところで、これ等の事業を推進してゆく中で非常に大切なことが一つあると思います。それは町民の皆さんが如何に参加、参画をするかということです。一生懸命やってみても、後を向いて見たら誰もいないというのでは何の意味もありません。やはり大勢の人々が関心を高め、自らのこととして参加をし、行動をして貰わなければならないのです。とかく私共は、人のしたこと

を傍観者として評論をしたり、批判めいたことを言ったりすることが多い訳ですが、それだけではいけないのではないのでしょうか。住民の皆さんが主役となって伊方の町づくりを考える。そして、みんなの手をとり合いながら行政や団体と連携をして町づくりを進める。このようにならないければ本道の前進にはならないと思うのです。

伊方の集聚力と爆発的エネルギーは定評があり、近隣の追随を許さないと云われています。どうかこの素晴らしい伝統を大切に、あなたがその主役になって下さい。今年の皆様方のご活躍とご健祥を心より祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



ひめなわ作りに挑戦

(有寿来小わんぱく学級)

十二月二十一日、有寿来小学校で「わんぱく学級」が開かれ、子どもたちはしめなわ作りに挑戦しました。

指導に当たったのは伊方越、亀浦のお年寄り六人。初めになわの編み方を教わり、子どもたちは早速、なわ編みに挑戦しました。最初は上手に出来ず悪戦苦闘していましたが、お年寄りの手を借りてしめなわに仕上げていきました。

今は、お金を出せば何でも手に入る時代です。廃れるものが増える中、手作りの良さを見直し、伝承していかなければならないのでは……。

平成3年度教育改革モニター募集

◎仕事
教育モニターは、臨時教育審議会の答申に基づき、具体化しようとする教育改革に関する施策のうち文部省から依頼するテーマについて、教育改革モニターの周辺、地域の人々の意見等も聴取の上、教育改革モニターとしての意見等をまとめ文書によって提出していただきます。

◎依頼期間 二年

◎応募資格
教育改革について関心があり、教育改革モニターとして仕事に熱意をもっている年齢二十歳以上の方です。ただし、公務員等は応募できません。

◎申込先及び問合せ
〒七九〇
松山市一番町四丁目四の二
愛媛県教育委員会事務局
管理部総務厚生課
☎〇八九九四一(二二一一)

◎申込み締切日
平成三年二月四日(月)

成人式ご案内

とき/平成3年1月15日(火)10:00~

ところ/伊方町中央公民館

町外から帰って本町の成人式に出席を希望される人は1月10日(木)までに社会教育課(☎38-0211・内線313)へ申し込んでください。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です

2月のテーマ “明るい郷土をつくるぞ”

- 〔実践方法〕
- 郷土の史跡探訪、文化財めぐりなどを行って、家や郷土の歴史や文化について話し合おう。
 - 郷土芸能や文化の伝承活動に参加しよう。



鳥津茂市翁頌徳碑
 平成三年、東の空から鳥津の浜にも初日之出。茂市翁は、二見から鳥津の浜に通い、網代をつくることを思い立った。親子が浜の石を西に東に捨い分けるが、浜の石が子を産むのか、なんぼでも石

口碑と立ちばいり ⑪〔鳥津〕

鳥津茂市翁へ、
 一八〇七年(文化四)二町見村二見大字二見本浦二生マレル。
 一八六一年(文久元)二鳥津二行キ、魚ノ群レルヲ見テ麻ノ蚊張

が浜に寄ってくる。もうやめるかと何度も掛け心をあさえて、遂に網代をやり遂げたという。浜の内へ歩いて行くと、すぐ頌徳碑が朝日をあびて光って見えた。碑の回りを眺めることしばし、碑の裏側には次のように記してあった。
 鳥津茂市翁歴任

コノ当時ノ二見庄屋第五代二宮清右衛門満和ハ、茂市翁ガ鳥津ヲ開拓シ漁場ヲ拓キ漁

デ魚ヲヒクコトヲ試ミテコトニ鑑大綱ヲ思イック。一八六三年(文久三)「志有レバ事意ニ成ル」ノ精神カラ、網代ヲ拓キ波止場ヲ築クコトヲ思イ立チ義榮ニヨル個人事業トシテ、凡テ人力ニヨリ私財ヲ投ジ四年余ノ歳月ヲカケテ築造シタ。コノ間、度々ノ災害ニ出合イ七回モ崩壊シタガ、ソノ都度修復シ一八六六年(慶応二)ニ改修ヲ重ネテ遂ニ鑑大綱ノ漁港ヲツクル。漁業ヲ行ウニハ通イ詰テハ不便ナド、一八六七年(慶応三)コノ地ニ転居シタ。ソノ後他ノ人々モ追イ追イ移住スルヨウニナリ現在ノ鳥津部落トナツタ。

鳥津に限らずどの地区も過疎化の波は容赦なくやってくる。これはただごとじゃない。いろいろ理由はあるが、何かいい知恵はないものか。村おこし町づくりをみんな考えてよう。町木や町花があるのなら町魚があってもいいじゃないか。そんな発想からイメー

業ノ振興ニ尽シタ功績ヲ誉メ称エ、以後名字ヲ鳥居カラ鳥津ニ改メルヨウ沙汰ガアツテカラ「鳥津」ト名乗ツタ。併セテコノ浦モ鳥津ト名ガ定マツタ。鳥津ノ開闢百二十余年ニアタリ是ニ鳥津茂市翁ノ遺徳ヲ俾ヒ頌徳碑ヲ建ツ。昭和六十年六月

俳句

- 潮に採まれ岬の爐の燃え盛る 阿部 嘉明
- 掃き寄せた落葉を風がまた散らす 松田 しづ子
- いやさかの号砲あがる森小春 桜谷 たまき
- 短日や残照つすれゆく波止場 石崎 みゆき
- 金色の翼の如く銀杏散る 木戸 えつ子
- 疲れ身をしばし庭の冬薔薇 田中 はつ子
- 櫛紅葉樂黄葉の向山 木戸 五雄
- 小春日や話しのはずむ蜜柑摘み 政木 滝義
- 小春日や布団と共に吾身干す 門田 千枝
- 刈残す人あり野菊白の花 梶谷 芳久

家庭教育資料

母親として、今



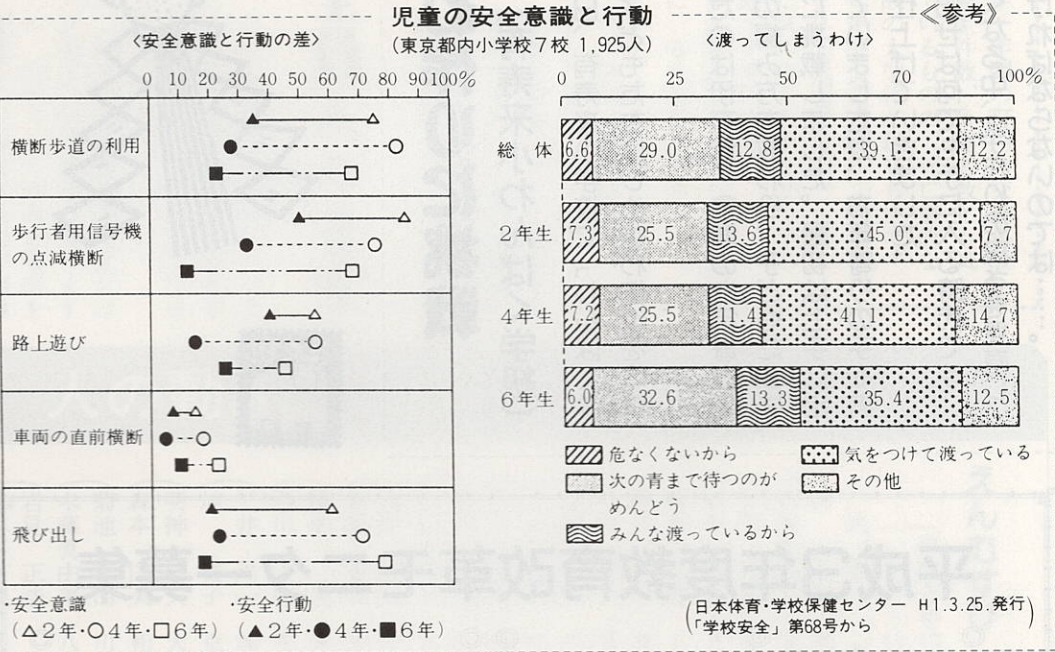
さまりを守る
 生活のルールが身に付かないと、自分勝手な人間になって、将来、子ども自らが苦しむことになりま。その為には、多くの「べからず集」を子どもに押しつけて、大人の言いなりになる子を作るのではなく、さまりを守ることで判断力、思いやりの心などが身に付くようにさせることが大切です。さまりを守らせるしつては、親に愛されているという感情が前提になります。親の愛情を失いたくない気持ちで自己抑制力の源です。愛なきしつけはみかけだけのいい子を作りがちになります。

家庭では、子どもの年齢や能力に合わせて、子どもに任す範囲と、越えてはならない線を決めるのがよいと言えましよう。就寝、おやつ、テレビ、お小遣い、勉強などについて、親と子で協定を結びます。「どこまで自由にふるまえないか」の境界を教えることが大切です。自分で考えることよって「自主性」が、境界を越えない努力をすることよって「耐性」が育つのではないでしようか。

鳥津移動公民館

《お知らせ》
 と き／平成3年2月15日(旧正月)
 と ころ／鳥津公民館
 内 容／午前 行政相談コーナー
 ゲートボール教室
 午後 講演と座談会
 ご近所誘いあわせておこしください。

みんなで守ろう文化財
 1月26日は文化財防火デーです



1・2月の行事

- 1月7日 剣道大会 (伊武)
- 15日 成人式 (中公)
- 20日 PTA研究大会 (中公)
- 27日 健康マラソン大会
- 2月上旬 成人講座 (中公)
- 中旬 実年講座 (中公)
- 中旬 駅伝大会

第5回ファミリー健康マラソン大会ご案内
 町見体育振興協会主催のファミリー健康マラソン大会が下記日程により開催されます。地区体育主任、学校等を通じて参加の呼び掛けをしますが、当日も受付ますので、参加を希望される方は時間までにご集合下さい。
 ●日 時／平成3年1月27日(日)
 ●場合場所／町見体育館
 ●コース／Aコース(7km 10:00スタート) 町体～田之浦集会所折り返し～町体
 Bコース(4.6km 10:00スタート) 町体～町中折り返し～町体
 Cコース(2km 10:05スタート) 町体～農協集荷場～新川道路～町体
 ●記念品等／参加者全員に参加賞、完走者に完走賞、更にA・Bコースは、それぞれ3位まで表彰する。
 ※大会にかかる事故の補償は、一日傷害保険の適用内にとどめる。

第9回伊方健康マラソン大会ご案内
 伊方体育振興協会主催の健康マラソン大会が下記日程により開催されます。地区体育主任、学校等を通じて参加の呼び掛けをしますが、当日も受付ますので、参加を希望される方は時間までにご集合下さい。
 ●日 時／平成3年1月27日(日)
 ●集合場所／伊方中学校グラウンド
 ●コース／①8km(一般男子・中学男子の部) 伊中～大浜バス停折り返し～伊中
 ②4.6km(年齢、性別を問わない) 伊中～川永田一里塚折り返し～伊中
 ③2.9km(年齢、性別を問わない) 伊中～中浦公民館折り返し～伊中
 ④1.5km(年齢、性別を問わない) 伊中～町役場～商工会～伊中
 ●記念品等／参加者全員に参加賞、完走者に完走賞
 ※大会にかかる事故の補償は、一日傷害保険の適用内にとどめる。

